

# 市役所周辺で放射能の測定

## 調査

福島原発事故以来、放射能汚染について国民的関心が高まっています。このような中で、3月6日1時半から、枚方労連、社保協の主催で、「放射線測定講習現地調査」が取り



測定作業に先立ち講習が行われ、日本科学者会議(元京都大学原子炉実験所)の岩本智之さんが放射線と放射能の違い、その脅威について講演。放射能とは、放射線を出す性質。放射線を出す性質の強さ。放射性物質の放射能を言い、空気中に飛んでいる放射線もたくさんあり、今回測定するものは電離性放射線の粒子線のアルファ線の測定です。原発の被害が発生している地域では、3月5日の福島県双葉町の放射線量は9.601マイクロシーベルト、大阪は0.080マイクロシーベルト(文部科学省発表)です。(しんぶん赤旗の報道から)

が平均は0.08マイクロシーベルトで、大阪の平均的な値という結果でした。岡東中央公園で子どもを遊ばせていたお母さん方も「何事?」というように集まり、岩本さんに色々質問、数字を示され「ホッとひと安心という場面も。また、通行人やバスを待つ人など多くの方が注目し、測定数値を聞いてくるなど関心の高さがわかりました。この調査には、党から石村・広瀬・つつみの市会議員全員、みわ国政対策委員長、野口前市会議員、松岡市政対策部長が参加しました。



消費税増税ストップ!暮らし応援の政治に変えよう

# 日本共産党 演説会

4月22日(日) 午後2時~  
交野ゆうゆうセンター 交流ホール

おはなし **笠井 亮** 衆院議員  
**みわ智之** 衆院大阪11区候補

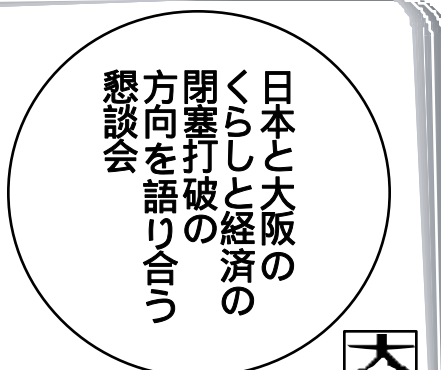
ほか



日本共産党が発表した「消費税増税ストップ!」社会保険充実、財政危機打開の提言」が話題をよんでいます。この「提言」を多くの経済関係者・商業関係者に読んでもらいたいと、みわ国政対策部長とおりぐち府政対策委員長は市内の事業者などを訪ねて懇談を行っています。

## 共産党の「提言」をもって訪問

北大阪商工会議所では「公務員の賃下げばかりやっていては、景気も悪くなるし、働く意欲も失ってしまふ」「共産党は政党助成金を受け取っていないのはすばらしい」などと対話がはずみましました。また、枚方市長にも面談し「提言」を渡しました。党市委員会では、ひきつづき、多くのみなさんに「提言」を届け、現場の方の生の声を伺い、対話を重ねていきます。



## 大阪経済懇談会

3月7日(土) 午後1時半  
シティプラザ大阪  
大阪府共済局長が報告します

## みわ智之 衆議へシュート



## 提言の申し入れで新たな出会い

『提言』をもって大阪経済懇談会」の申し入れ。車の金型を作っているある企業では「円高と少子化が問題、不況で大変」「消費税は将来的には必要だが、この時期ではない」と。建設会社の社長さんは「ゼネコンが全て利益をもっていく。われらは、安くたたかれる。もう枚方市内では仕事がない」「消費税あげるの無駄、いらんところ削らなあかん」「共産党ががんばって景気よくして」と。新たなところへ。提言の申し入れがはります。